

弥彦燈籠まつり

7/25

7/24・前夜祭
7/26・還御祭

奉納花火大会

古えより弥彦に伝わる夏の「大祭」弥彦燈籠まつりは、この土地の熱気が一つになる三日間の祭典。

以前は旧暦六月十四日を中心に執行されておりましたが、現代の時勢にあわせて昭和三十六年から現行の七月二十五日中心に改められました。七月二十五日の夜は県下各地の大燈籠講中から献燈の大燈籠と、地元氏子中より献燈の小田楽燈籠多数が、神歌楽・天犬舞の両舞童、宮司以下神職、役員総代らの供奉する二基の御神輿を中心にその前後に連なり渡御を展開します。

俗人の奏する道楽の音も賑々しく延々一キロ以上の灯の大巡行は神社を出発し、町を二時間余りにわたって一巡し、再び拝殿前に帰りますが、拝殿前に特設された舞殿の周囲を大燈籠が取り囲み、その中で一社古伝の秘曲 神歌楽・天犬舞が厳かに奉奏されて深夜にようやく終了し、翌二十六日には還御祭が執行され、一切の神事の幕を閉じることとなります。



大燈籠巡行

県内各地よりの大燈籠講中が二基の御神輿を中心に展開する大巡行。賑やかに温泉街を練り歩きます。

スケジュール

SCHEDULE

- 12日 舞童選定式
神歌楽・天犬舞の両舞童が決まり、本番まで練習に励みます。
- 18日 御輿祭 素講
- 22日 御慣し 花揃い
この日の夕刻、花飾りを終えた大燈籠が拝殿前回廊に一堂に飾られます。

24日

- 17:00~17:40 奉祝平和大行進(町内)
- 19:00~20:10 民謡流し(町内)
- 20:20~22:00 前夜祭・奉納花火打ち上げ
(テニスコート・弥彦公園)

25日

- 9:00~10:00 大祭〈大御膳献進〉(拝殿)
- 9:30~12:00 燈籠駅伝大会(町内)
- 11:00~11:30 特別祈禱〈1回目〉(拝殿)
- 12:00~16:30 青年・子ども燈籠押し・芸妓連たるみこし(町内)
- 14:00~15:00 里神楽奉納(仮舞殿)
- 15:00~15:30 特別祈禱〈2回目〉(拝殿)
- 15:30~16:30 里神楽奉納(仮舞殿)
- 16:30~17:00 剣舞・詩吟奉納(仮舞殿)
- 16:30~17:30 お櫛引〈巡行路清祓〉(町内)
- 19:00~19:30 大燈籠宿下り(神社~町内)
- 18:20~20:30 弥彦山松明行進(山頂~町内)
県下山岳人により弥彦山頂より御神火をいただいて夫々松明を手に下山する一大行進は弥彦の火祭りとして名物行事にあげられます。
- 20:00~22:00 奉納花火大会
(スターメイン・仕掛け花火打ち上げ・弥彦公園)
- 21:00~23:00 御神輿渡御 大燈籠巡行(町内)
- 23:00~23:30 神歌楽・天犬舞奉奏(仮舞殿)
町を一巡した燈籠は夜半帰還し、拝殿前の特設舞殿を取り囲む。その中で神歌楽、天犬舞が奉奏され深夜に終了する。

26日

- 9:00~10:00 還御祭(拝殿)
12日に始まった神事も御神輿二基が納められ、夏の「大祭」が終了となる。

子ども燈籠押し



地元小中学生によるミニ講中。威勢の良い掛け声で大人に負けない活気に包まれます。

打ち上がる花火は大燈籠巡行に華を添える。中でも間近で打ち上がる仕掛け花火は迫力満点。

御神輿渡御前の櫛の大枝による道路の蔽い清め。白法被白鉢巻姿の児童十数名が掛け声とともに引き走る。

お櫛引



列車での所要時間

- 新幹線ご利用の場合
- 東京↔燕三条…約1時間50分
- 名古屋↔燕三条…約4時間30分
- 大阪↔燕三条…約5時間30分
- ※燕三条駅から弥彦線で約20分
- 特急ご利用の場合
- 秋田↔新潟…約3時間20分

車での所要時間

- 東京から(約300Km)…約4時間
- 長野から(約200Km)…約3時間
- 金沢から(約300Km)…約4時間
- 郡山から(約180Km)…約3時間
- 仙台から(約300Km)…約4時間
- 秋田から(約530Km)…約7時間
- 名古屋から(約450Km)…約6時間

弥彦線に臨時列車運転/弥彦ロープウェイ夜間運行

